

府内小・中学校における I C T 端末の活用状況について

令和 3 年 6 月 10 日
学 校 教 育 課

GIGA スクール構想に基づき昨年度配備された ICT 端末を活用した教育活動の状況について、下記のとおり報告します。

記

1 活用状況

(1) 以下【活用例】のように、多くの学校で、「まずは使用してみる」というトライは行われている。事例としては、調べ学習・資料の作成・学校内での使用・オフラインでの活用が多いが、双方向でのコミュニケーションを図る取組を行う地域もある。

【活用例】

- ・理科において、雲の様子、花、生物の写真をタブレットで撮影し日ごとの変化を観察し、考えをまとめ発表・交流している。
- ・中学校では、道徳の授業等で、授業支援アプリに自分自身の考えを記入し、学級全体で共有する際に効果的な活用を行っている。
- ・ドリル型のアプリや市販のドリルに付いている二次元コードを活用して繰り返し学習を行っている。
- ・小学校低学年では、IDやパスワードの入力から学び始めている。
- ・プレゼンテーションアプリを用いて自己紹介をし合う。
- ・体育でマット運動やハードル走などで動画を撮影し、改善点を話し合うなどしている。
- ・T e a m s や Z o o m を活用し、校内で別教室からのリモート授業、校内部活動紹介、オンライン始業式等を行っている。

【活用風景】



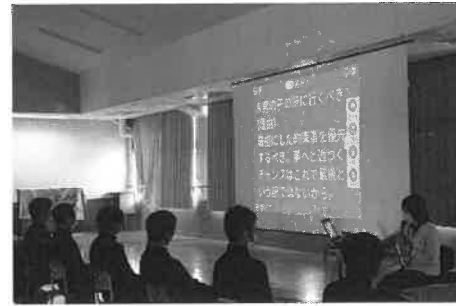
<雲の様子を撮影（小学校）>



<考えをまとめる（小学校）>



<メダカの観察（小学校）>



<意見の共有（中学校）>



<リモート体験（小学校）>

(2) その他、以下のような取組も一部の学校で行われている。

- ・デジタル教科書の活用
- ・デジタル教科書だけでなく、小学校社会科の副読本をデジタル化し、教材として活用
- ・教員から出した学習課題をタブレットから提出するなど、双方向の取組
- ・コロナにより濃厚接触者等で出席できない児童生徒にタブレットを貸し出し、課題学習を行うなどしている。

2 課題

- (1) 簡単な活用から、協働的に学び考えを深める手段としての活用に発展させていくこと。
学年・教科・授業場面に応じた活用事例の蓄積・研究が必要。
- (2) 教員間・学校間の活用格差の防止・解消、スキルの向上
- (3) 端末の持ち帰りなど、個別課題についての対応事例の波及

3 府教委としての取組と今後の展望

- (1) 先導的に ICT 活用を進める教員の育成（「新しい授業づくりリーダー育成研修」）
- (2) ICT を活用した授業実施のための助言・支援（ICT 利活用官民連携サポートセンター）
- (3) 先行実践事例の共有・波及（府教委・総合教育センター・各教育局・市町における各種研修）が今後必要